Application Manual

取 扱 説 明 書

Rev. 1.00

2011/2/4 発行

株式会社エムフィールド

--- 目次 ---

このたびは、RapiNAVImini をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

1. はじめに

本書は、RapiNAVImini（以下、本製品）の設定方法や PC 接続方法について記載したものです。

・本製品は、FeliCa 対応携帯電話を本製品にかざすだけで、ウェブサイト誘導を行うことができます。
・本製品は、日本国内でご使用ください。
・本製品は、PC を使用して、製品の動作設定が可能です。

ハードウェアの仕様については、ハードウェアマニュアルを参照ください。

※対応確認済み機種は、当社 web サイトをご参照ください。
未掲載の携帯電話に関しては、別途お問い合わせください。

2. 商標・その他

2−1　商標

- 「FeliCa」は、ソニー株式会社の登録商標です。
- 「　　」は、フェリカネットワークス株式会社の商標です。
- Microsoft　Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または、登録商標です。

2−2　その他

- 「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。
- 本書の内容は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

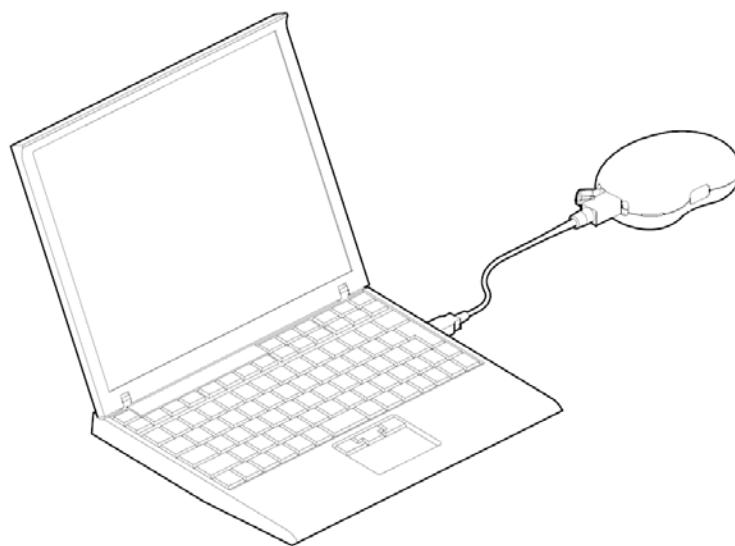
3. 設定・サウンド登録方法

3−1　概要

本製品の動作を設定により変えることが可能です。

各状態にて使用するサウンドを登録することができます。

3−2　設定・サウンド登録構成

本製品を設定ケーブルで PC に接続し、設定およびサウンド登録します。

本製品に使用する PC の動作環境について

オペレーティングシステム[1]
Windows XP Professional Edition Windows Vista Business Edition 以上 Windows 7 Professional

必要デバイス
1 つ以上の USB ポートを備えること

[1] ファームウェアの書き込みプログラムは 64bit版OSに対応しておりません。

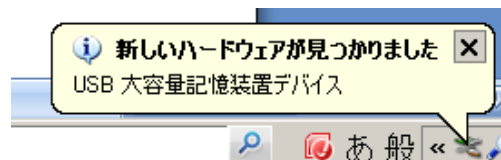
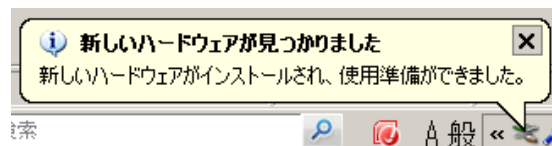
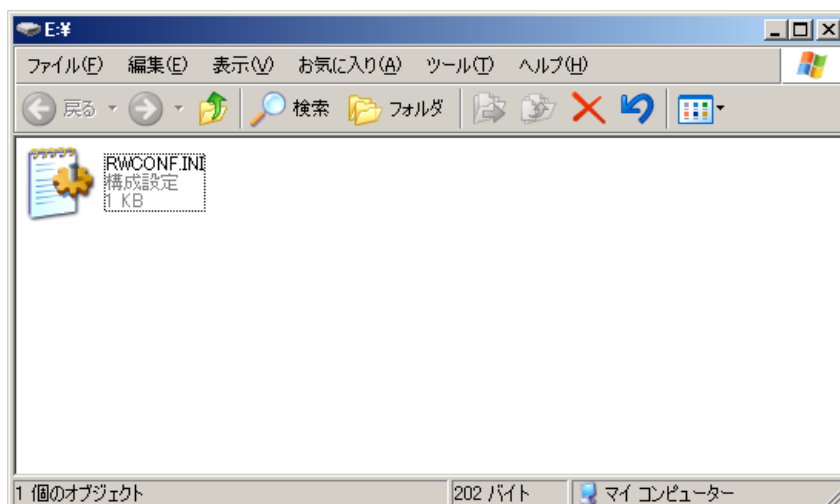
3−3　設定ファイルおよびサウンドの登録フォルダ表示

以下の操作により、設定ファイルの登録フォルダを表示します。

① 本製品を設定ケーブルで PC に接続し、本製品を起動します。

② 電源ボタンを長押し（約 5 秒）”ピロリ”と鳴ったら電源ボタンから離してください。ランプが黄色点滅となります。

③ 電源ボタンを離してから、本製品が PC より認識されます。

初めて PC に接続する際は、「新しいハードウェアが見つかりました」と表示されます。Windows の標準ドライバーが自動的にインストールされます。

本製品が認識され使用準備が完了すると「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」と表示されます。

④ PC の割り当てられたドライブ上（mini のフォルダ）に、本製品の設定ファイルが格納されています。エクスプローラ上に認識されます。

3−4　設定ファイル変更

「RWCONF.INI」をテキストエディタで編集、または、設定した「RWCONF.INI」をドラッグ＆ドロップすることにより、設定変更できます。
設定変更すると、ランプが青色で約 1 秒間点灯し、設定更新時のサウンドを再生します。

3−5　設定からかざし待ち

設定状態（ランプ黄色点滅）からかざし待ち状態にするためには、設定ケーブルを外し、電源ボタンを押してください。

3−6　サウンド登録

mini のフォルダにサウンドファイルをドラッグ＆ドロップすることにより、サウンドを登録できます。
サウンド登録すると、ランプが青色で約 1 秒間点灯し、同時に、設定更新時のサウンドを再生します。

注意事項

・本製品を再起動した後、mini のフォルダを開くとサウンドファイルおよび iC 送信データは表示されません。

4. 設定内容

4−1　WebTo

①設定ファイルについて

設定ファイルは、各[section]ごとの”項目=値”の形式となります。

RWCONF.ini − メモ帳

ファイル(F)　編集(E)　書式(O)　表示(V)　ヘルプ(H)

```
[common]
ACTMODE01=      7
LED=
LEDPTN=
SOUND=
IDM=            n
COUNT=          n
USRCNTVAL=
UPARAM=         IDM=%I,CNT=%C,NO=1234
ENCRYPT=
MSTCNTVAL=
ACTMODE07=      1
ACTMODE17=      1

[webto0]
URL01=

[webto1]
URL02=
POPUP=
```

注意事項

・行の順番入れ替えや、余計な行の挿入を行った場合、設定が反映されない場合があります。

・値が省略された場合、行ごと削除された場合、または、値が不正な場合は、デフォルトの設定にて動作します。

・すべての文字値は半角英数字で入力してください（ポップアップのメッセージは全角 Shift-JIS 文字列を入力してください。）

②設定内容

パラメータの内容を設定することができます。

パラメータ	説明
[common]	common セクションの開始 この項目は、変更しないでください
ACTMODE01	本製品の動作を選びます 0：動作しない（デフォルト） 7：動作モード
LED	ランプの表示を選びます y：ランプ表示を行う（デフォルト） n：消灯
LEDPTN	ランプ表示パターンを選びます（かざし待ち時） 0：消灯 1：青点灯　（デフォルト） 2：青点滅 3：7 色 4：7 色点滅
SOUND	ブザーの音量を選びます 0：消音 1：小 2：中（デフォルト） 3：大
IDM	送信する URL の後に携帯電話の IDm を付加するか選びます 付加を選択した際、16 進数 16 桁の IDm を付加します y：付加する n：付加しない（デフォルト）
COUNT	送信する URL の後に URL 送信回数を付加するか選びます y：付加する n：付加しない（デフォルト）
USRCNTVAL	URL 送信回数を表示します 16 進数 4 桁で 0x0000～0ｘFFFE の範囲で表示します カウンタ値を任意の値に設定したい場合は、このパラメータを変更してください （初めてかざした時のカウンタ値は、1 とします）

パラメータ	説明
UPARAM	ユーザ指定のパラメータを付加できます ASCII 文字列で 16 字まで設定可能です IDM 番号やカウンタ値の付加情報を自由に設定できます 「%I」：IDM 番号 「%C」：カウンタ値 それ以外の文字はそのまま付加情報として送信されます 例）IDM=%I,CNT=%C,NO=1234 この場合「IDM=（IDM 番号）,CNT=（カウンタ値）,NO=1234」 「」内の文字列が付加情報として送信されます ※デフォルト：ユーザパラメータ付加なし ※但しこの機能は、「IDM=n」「COUNT=n」の時のみ有効になります
ENCRYPT	付加データの暗号化について選択します y：暗号化を行う n：暗号化しない（デフォルト）
MSTCNTVAL	本製品の FLASH メモリのイレース回数を表します 16 進数 4 桁で 0x0000～0ｘFFFE の範囲で表示します このパラメータは、参照のみ可能です。
ACTMOODE07	ドコモ送信用の拡張機能を指定します 1：WebTo　2：MailTo　3：アプリ自動起動　4：トルカ ※WebTo 使用時は「1」を設定してください
ACTMOODE17	その他送信用の拡張機能を指定します 1：WebTo　2：MailTo　3：アプリ自動起動　4：トルカ ※WebTo 使用時は「1」を設定してください

暗号化および復号の仕様については、RapiNAVI/ RapiNAVILight の解説書を参照ください。

パラメータ	説明
[webto0]	ドコモ送信用の webto セクションの開始 ※この項目は、変更しないでください
URL01	NTT ドコモ送信 URL この項目は、省略できません
[webto1]	その他送信用の webto セクションの開始 ※この項目は、変更しないでください
URL02	その他送信 URL この項目は、省略できません
POPUP	ポップアップメッセージを入力します 40byte 以下の Shift-JIS 文字列で入力します デフォルト：ポップアップメッセージ付加なし

注意事項

・ポップアップメッセージ・URL・付加データ・暗号化の設定にて URL の送信データ数が決定されますが携帯電話により受信可能なデータ数が異なるため、設定によっては、受信　できない場合があります。

4−2　MailTo

①設定ファイルについて

設定ファイルは、各[section]ごとの”項目=値”の形式となります。

RWCONF.ini - メモ帳

ファイル(F)　編集(E)　書式(O)　表示(V)　ヘルプ(H)

```
[common]
ACTMODE01=      7
LED=
LEDPTN=
SOUND=
IDM=            n
COUNT=          n
USRCNTVAL=
UPARAM=         IDM=%I,CNT=%C,NO=1234
ENCRYPT=
MSTCNTVAL=
ACTMODE07=      1
ACTMODE17=      2

[webto0]
URL01=

[mailto]
TO=
CC=
SUB=
BODY=
POPUP=
```

注意事項

・行の順番入れ替えや、余計な行の挿入を行った場合、設定が反映されない場合があります。

・値が省略された場合、行ごと削除された場合、または、値が不正な場合は、デフォルトの設定にて動作します。

・すべての文字値は半角英数字で入力してください（ポップアップのメッセージは全角 Shift-JIS 文字列を入力してください。）

②設定内容

パラメータの内容を設定することができます。

パラメータ	説明
[common]	common セクションの開始 この項目は、変更しないでください
ACTMODE01	本製品の動作を選びます 0：動作しない（デフォルト） 7：動作モード
LED	ランプの表示を選びます y：ランプ表示を行う（デフォルト） n：消灯
LEDPTN	ランプ表示パターンを選びます（かざし待ち時） 0：消灯 1：青点灯　（デフォルト） 2：青点滅 3：7 色 4：7 色点滅
SOUND	ブザーの音量を選びます 0：消音 1：小 2：中（デフォルト） 3：大
IDM	送信する URL の後に携帯電話の IDm を付加するか選びます 付加を選択した際、16 進数 16 桁の IDm を付加します y：付加する n：付加しない（デフォルト）
COUNT	送信する URL の後に URL 送信回数を付加するか選びます y：付加する n：付加しない（デフォルト）
USRCNTVAL	URL 送信回数を表示します 16 進数 4 桁で 0x0000～0ｘFFFE の範囲で表示します カウンタ値を任意の値に設定したい場合は、このパラメータを変更してください （初めてかざした時のカウンタ値は、1 とします）

パラメータ	説明
UPARAM	ユーザ指定のパラメータを付加できます ASCII 文字列で 16 字まで設定可能です IDM 番号やカウンタ値の付加情報を自由に設定できます 「%I」：IDM 番号 「%C」：カウンタ値 それ以外の文字はそのまま付加情報として送信されます 例）IDM=%I,CNT=%C,NO=1234 この場合「IDM=（IDM 番号）,CNT=（カウンタ値）,NO=1234」 「」内の文字列が付加情報として送信されます ※デフォルト：ユーザパラメータ付加なし ※但しこの機能は、「IDM=n」「COUNT=n」の時のみ有効になります
ENCRYPT	付加データの暗号化について選択します y：暗号化を行う n：暗号化しない（デフォルト）
MSTCNTVAL	本製品の FLASH メモリのイレース回数を表します 16 進数 4 桁で 0x0000～0ｘFFFE の範囲で表示します このパラメータは、参照のみ可能です。
ACTMOODE07	ドコモ送信用の拡張機能を指定します 1：WebTo　2：MailTo　3：アプリ自動起動　4：トルカ ※ドコモは MailTo の設定ができません
ACTMOODE17	その他送信用の拡張機能を指定します 1：WebTo　2：MailTo　3：アプリ自動起動　4：トルカ ※MailTo 使用時は「2」を設定してください

暗号化および復号の仕様については、RapiNAVI/ RapiNAVILight の解説書を参照ください。

パラメータ	説明
[webto0]	ドコモ送信用のセクションの開始 ※WebTo 設定時の例です。 ※この項目は、変更しないでください
URL01	NTT ドコモ送信 URL この項目は、省略できません ※WebTo 設定時の例です。
[mailto1]	その他送信用の MailTo セクションの開始 ※この項目は、変更しないでください
TO	メール送信先アドレス（TO）を記載します この項目は、省略できません
CC	メール送信先アドレス（CC）を記載します
SUB	メールの表題を記載します
BODY	メール本文を記載します
POPUP	ポップアップメッセージを入力します 40byte 以下の Shift-JIS 文字列で入力します デフォルト：ポップアップメッセージ付加なし

注意事項

・ポップアップメッセージ・URL・付加データ・暗号化の設定にて URL の送信データ数が決定されますが携帯電話により受信可能なデータ数が異なるため、設定によっては、受信　できない場合があります。

4−3　アプリ自動起動

①設定ファイルについて

設定ファイルは、各[section]ごとの"項目=値"の形式となります。

```
RWCONF.ini - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
[common]
ACTMODE01=	7
LED=
LEDPTN=
SOUND=
IDM=	n
COUNT=	n
USRCNTVAL=
UPARAM=
ENCRYPT=
MSTCNTVAL=
ACTMODE07=	3
ACTMODE17=	3

[apl0]
URL=
CODE=
PARAM=

[apl1]
URL=
CODE=
PARAM=
```

注意事項

・行の順番入れ替えや、余計な行の挿入を行った場合、設定が反映されない場合があります。

・値が省略された場合、行ごと削除された場合、または、値が不正な場合は、デフォルトの設定にて動作します。

・すべての文字値は半角英数字で入力してください（ポップアップのメッセージは全角 Shift-JIS 文字列を入力してください。）

②設定内容

パラメータの内容を設定することができます。

パラメータ	説明
[common]	common セクションの開始 この項目は、変更しないでください
ACTMODE01	本製品の動作を選びます 0：動作しない（デフォルト） 7：動作モード
LED	ランプの表示を選びます y：ランプ表示を行う（デフォルト） n：消灯
LEDPTN	ランプ表示パターンを選びます（かざし待ち時） 0：消灯 1：青点灯　（デフォルト） 2：青点滅 3：7 色 4：7 色点滅
SOUND	ブザーの音量を選びます 0：消音 1：小 2：中（デフォルト） 3：大
IDM	送信する URL の後に携帯電話の IDm を付加するか選びます 付加を選択した際、16 進数 16 桁の IDm を付加します y：付加する n：付加しない（デフォルト）
COUNT	送信する URL の後に URL 送信回数を付加するか選びます y：付加する n：付加しない（デフォルト）
USRCNTVAL	URL 送信回数を表示します 16 進数 4 桁で 0x0000～0ｘFFFE の範囲で表示します カウンタ値を任意の値に設定したい場合は、このパラメータを変更してください （初めてかざした時のカウンタ値は、1 とします）

パラメータ	説明
UPARAM	ユーザ指定のパラメータを付加できます ASCII 文字列で 16 字まで設定可能です IDM 番号やカウンタ値の付加情報を自由に設定できます 「%I」：IDM 番号 「%C」：カウンタ値 それ以外の文字はそのまま付加情報として送信されます 例）IDM=%I,CNT=%C,NO=1234 この場合「IDM=（IDM 番号）,CNT=（カウンタ値）,NO=1234」 「」内の文字列が付加情報として送信されます ※デフォルト：ユーザパラメータ付加なし ※但しこの機能は、「IDM=n」「COUNT=n」の時のみ有効になります
ENCRYPT	付加データの暗号化について選択します y：暗号化を行う n：暗号化しない（デフォルト）
MSTCNTVAL	本製品の FLASH メモリのイレース回数を表します 16 進数 4 桁で 0x0000～0ｘFFFE の範囲で表示します このパラメータは、参照のみ可能です。
ACTMOODE07	ドコモ送信用の拡張機能を指定します 1：WebTo　2：MailTo　3：アプリ自動起動　4：トルカ ※アプリ自動起動使用時は「3」を設定してください
ACTMOODE17	その他送信用の拡張機能を指定します 1：WebTo　2：MailTo　3：アプリ自動起動　4：トルカ ※アプリ自動起動使用時は「3」を設定してください

暗号化および復号の仕様については、RapiNAVI/ RapiNAVILight の解説書を参照ください。

パラメータ	説明
[apl0]	ドコモ送信用のアプリ自動起動セクションの開始 ※この項目は、変更しないでください
URL	アプリケーション URL を記載します この項目は、省略できません
CODE	アプリケーション識別コードを記載します この項目は、省略できません
PARAM	起動パラメータを記載します この項目は、省略できません
[apl1]	その他送信用のアプリ自動起動セクションの開始 ※この項目は、変更しないでください
URL	アプリケーション URL を記載します この項目は、省略できません
CODE	アプリケーション識別コードを記載します この項目は、省略できません
PARAM	起動パラメータを記載します この項目は、省略できません

注意事項

・ポップアップメッセージ・URL・付加データ・暗号化の設定にて URL の送信データ数が決定されますが携帯電話により受信可能なデータ数が異なるため、設定によっては、受信　できない場合があります。

4−4　トルカ

①設定ファイルについて

設定ファイルは、各[section]ごとの"項目=値"の形式となります。

```
[common]
ACTMODE01=      7
LED=
LEDPTN=
SOUND=
IDM=            n
COUNT=          n
USRCNTVAL=
UPARAM=         IDM=%I,CNT=%C,NO=1234
ENCRYPT=
MSTCNTVAL=
ACTMODE07=      4
ACTMODE17=      1

[toruca]
URL=
DATA1=
DATA2=
DATA3=
ICON=

[webto1]
URL02=
POPUP=
```

注意事項

- 行の順番入れ替えや、余計な行の挿入を行った場合、設定が反映されない場合があります。
- 値が省略された場合、行ごと削除された場合、または、値が不正な場合は、デフォルトの設定にて動作します。
- すべての文字値は半角英数字で入力してください（ポップアップのメッセージは全角 Shift-JIS 文字列を入力してください。）

②設定内容

パラメータの内容を設定することができます。

パラメータ	説明
[common]	common セクションの開始 この項目は、変更しないでください
ACTMODE01	本製品の動作を選びます 0：動作しない（デフォルト） 7：動作モード
LED	ランプの表示を選びます y：ランプ表示を行う（デフォルト） n：消灯
LEDPTN	ランプ表示パターンを選びます（かざし待ち時） 0：消灯 1：青点灯　（デフォルト） 2：青点滅 3：7 色 4：7 色点滅
SOUND	ブザーの音量を選びます 0：消音 1：小 2：中（デフォルト） 3：大
IDM	送信する URL の後に携帯電話の IDm を付加するか選びます 付加を選択した際、16 進数 16 桁の IDm を付加します y：付加する n：付加しない（デフォルト）
COUNT	送信する URL の後に URL 送信回数を付加するか選びます y：付加する n：付加しない（デフォルト）
USRCNTVAL	URL 送信回数を表示します 16 進数 4 桁で 0x0000～0ｘFFFE の範囲で表示します カウンタ値を任意の値に設定したい場合は、このパラメータを変更してください （初めてかざした時のカウンタ値は、1 とします）

パラメータ	説明
UPARAM	ユーザ指定のパラメータを付加できます ASCII 文字列で 16 字まで設定可能です IDM 番号やカウンタ値の付加情報を自由に設定できます 「%I」：IDM 番号 「%C」：カウンタ値 それ以外の文字はそのまま付加情報として送信されます 例）IDM=%I,CNT=%C,NO=1234 この場合「IDM=（IDM 番号）,CNT=（カウンタ値）,NO=1234」 「」内の文字列が付加情報として送信されます ※デフォルト：ユーザパラメータ付加なし ※但しこの機能は、「IDM=n」「COUNT=n」の時のみ有効になります
ENCRYPT	付加データの暗号化について選択します y：暗号化を行う n：暗号化しない（デフォルト）
MSTCNTVAL	本製品の FLASH メモリのイレース回数を表します 16 進数 4 桁で 0x0000～0ｘFFFE の範囲で表示します このパラメータは、参照のみ可能です。
ACTMOODE07	ドコモ送信用の拡張機能を指定します 1：WebTo　2：MailTo　3：アプリ自動起動　4：トルカ ※トルカ使用時は「4」を設定してください
ACTMOODE17	その他送信用の拡張機能を指定します 1：WebTo　2：MailTo　3：アプリ自動起動　4：トルカ ※その他送信用はトルカの設定ができません

暗号化および復号の仕様については、RapiNAVI/ RapiNAVILight の解説書を参照ください。

パラメータ	説明
[toruca]	ドコモ送信用のセクションの開始 ※この項目は、変更しないでください
URL	トルカ（詳細）の取得先 URL を設定します
DATA1	データ１の内容を設定します 基本的にはタイトルとして利用される事を想定しています
DATA2	データ２の内容を設定します 基本的には本文として利用される事を想定しています
DATA3	データ３の内容を設定します 基本的には場所情報として利用される事を想定しています
ICON	カテゴリアイコンのコードを設定します
[webto1]	その他送信用のセクションの開始 ※WebTo 設定時の例です。 ※この項目は、変更しないでください
URL01	その他送信用 URL この項目は、省略できません ※WebTo 設定時の例です。

注意事項

・ポップアップメッセージ・URL・付加データ・暗号化の設定にて URL の送信データ数が決定されますが携帯電話により受信可能なデータ数が異なるため、設定によっては、受信　できない場合があります。

5. サウンド

5−1　サウンド再生

状態によって再生するサウンドが異なります。

mini のフォルダに状態別の 4 つのファイル（SOUND1.wav～SOUND4.wav）を登録できます。

ボタン操作時のサウンドについては、固定です。

状態	再生するサウンド
起動時	SOUND1
データ送信成功時	SOUND2
データ送信失敗時	SOUND3
カード認識時	SOUND3
設定更新時	SOUND2
設定初期化時	SOUND3

5−2　サウンドファイル

サウンドファイルは、以下の仕様を満たしている必要があります。

項目	説明
ファイル形式	WAVE フォーマット
周波数	8kHz サンプルレート
量子化ビット数	8bit サンプルサイズ
ファイルサイズ	24Kbyte 以下

6. 設定初期化

電源ボタンの操作により、本製品の設定内容を初期化することができます。

① 電源ボタンを押して、本製品を起動します。
② そのまま継続して電源ボタンを長押しし”ピロリ”（約 5 秒）と鳴ったら電源ボタンから押下を解除します。ランプは、黄色点灯します。
③ ボタンを離してから約 2 秒以内に電源ボタンを長押し（約 5 秒）”ピロリ”と鳴ったら電源ボタンから押下を解除します。ランプは、赤点灯します。
④ ボタンを離してから約３秒以内に電源ボタンを３回押すとランプは、白点灯、設定初期化時のサウンドを再生したのち、設定初期化および iC 送信データが削除されます。

設定初期化について

・[common]で設定されているパラメータがデフォルト値となります。
・USRCNTVAL の URL 送信回数は、保持されます。
・MSTCNTVAL のマスターカウント値は、保持されます。

7. お問い合わせ

ご不明な点やアフターサービスについてのご相談は、下記にお問い合わせください。

株式会社 エム・フィールド
ＮＡＶＩシリーズ販売担当　宛
TEL：03-6415-4402
Mail：ｒａｐｉＮＡＶＩ@m-field.co.jp

RapiNAVImini 取扱説明書
Application　Manual
Rev.1.00
株式会社エム･フィールド
2011/2/4